



生産・品質

| 関連するマテリアリティ | 取り組み |
|---|--|
|  製品を通して | <ul style="list-style-type: none"> 高い安全品質、環境性能のタイヤ・工業資材の製造・販売 カーボンニュートラル製品の製造・販売 AI、IoT技術を活用した製品・サービスの開発（摩耗検知、路面検知、タイヤ管理、損傷予知） 社会インフラを支える産業・建設車両用タイヤ、自然資本を支える農林業機械用タイヤの製造・販売 |
|  地球環境のために | <ul style="list-style-type: none"> 2050年までに自社活動カーボンニュートラルを達成 2050年までにサステナブル原料使用率100% |

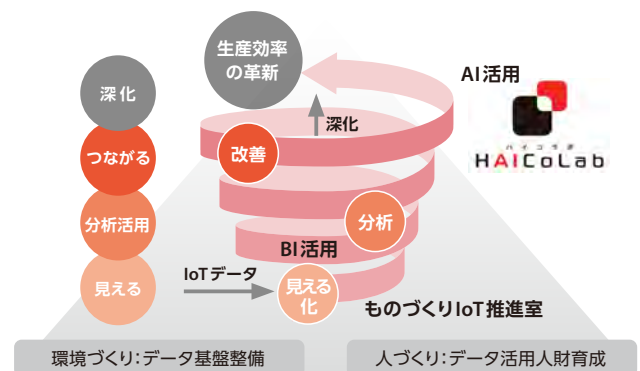
生産における取り組み

環境変化や受注の振れに強い生産・物流体制を構築

世界中のお客さまに「良いモノを、安くタイムリーに供給」するために、グローバルで生産拠点を有し、最先端の技術と徹底した品質管理のもと生産活動が行われています。YX2023の基本方針である「高付加価値品比率の最大化」のため、当社の強みである多品種少量生産方式を推し進め、IoTやAIなどデジタル技術の活用と自動化により生産効率をさらに向上させていきます。

また、環境に配慮した生産体制構築にも注力しており、2022年度はモデル工場（新城南）での完全カーボンニュートラル化に向けた取り組みを進めました。国内の全生産拠点では、産業廃棄物の埋立処分量をゼロにする完全ゼロエミッションを達成しており、今後はIT技術を駆使して取り組みを海外に展開するとともに、サーキュラーエコノミーの実現を目指します。

製造データの活用基盤整備とデータドリブン文化の醸成



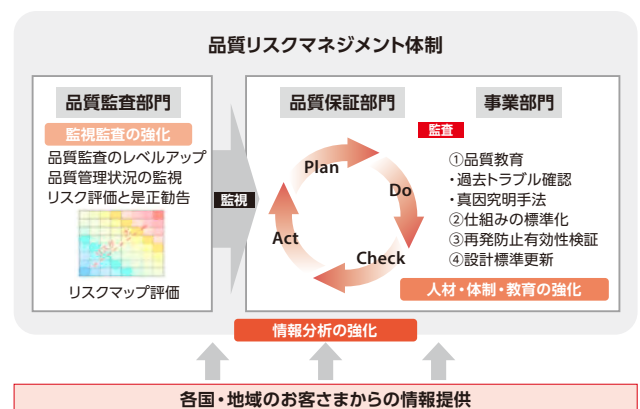
品質における取り組み

品質に関するマネジメント体制

当社は、お客さまの安全を第一に考え、独自のリスクマップを作成し、迅速かつ適法性・適合性を持った社内処理を事業部門・品証部門・サービス部門において確実に実施するとともに、品質監査部門がその牽引・監視を実施しています。

品質マネジメントシステム(QMS)に則った潜在的リスクの定量的分類と、FMEA*による未然安全設計の考え方の導入で、同様の品質問題が再発しない仕組みの構築に取り組んでいます。また、社内で品質教育を実施するとともに、管理監督者に対しては、内部品質監査員資格の取得を推進しています。2022年度は3名の新規認定を行いました（認定者総数は147名）。

国内外市場では、経験豊かな技術者を販売会社や販売拠点に駐在させ、計画的に商品知識や取り扱いについての社内研修を開催しています。



* FMEA (Failure Mode and Effect Analysis): 故障・不具合の防止を目的とした、潜在的な故障の体系的な分析方法。